

# 愛媛の早生温州の代表格！「宮川早生」



## 1. 果実の出荷時期と特長

|      |   |
|------|---|
| 出荷時期 | 11月上旬から12月下旬まで  |
| 特長   | 極早生みかんに比べ、甘味が増加、酸味が低下し、袋の薄さは温州みかんの中でも一番です。  |
| 備考   | 愛媛県内の早生温州栽培面積の8割弱を占める代表品種です。また、本県露地栽培みかんの全栽培面積の約3割を占める主力品種でもあります。早生温州には、「宮川早生」のほか、「興津早生」、「田口早生」などがあります。 |

## 2. 果実の食べやすさ

|    |  |
|----|--|
| 果皮 | <p>①：手で簡単にむけます。</p> <p>②：手でむけますが、ややむきにくいこともあります。</p> <p>③：手でむくのが大変です。ナイフなどをご利用下さい。</p>       |
| 袋  | <p>①：薄く、食べてもほとんど気になりません。</p> <p>②：やや薄く、袋ごと食べることができます。</p> <p>③：厚く、口に残ります。袋をむいてお召し上がり下さい。</p> |
| 種  | <p>①：ありません（まれに少量あることもあります）。</p> <p>②：あります。</p>   |

## 3. 来歴

1915年頃に福岡県城内村（現：柳川市）の宮川謙吉氏の宅地内で在来系温州みかんの枝変わりとして発見され、その後、1925年に田中長三郎博士によって「宮川早生」と命名されました。

※祖父母世代不明のため、3世代系譜図は省略